

令和2年度版

工事管理のひけつ

～優れた工事管理の取組事例集～

令和2年11月

公益財団法人横浜市建築保全公社

ま え が き

本冊子は、公共建築物の営繕工事における品質の向上及び適正な施工に資することを目的として、今年度の優良工事施工者表彰を受けられた皆様の実践内容を取りまとめたものです。

当公社では、平成23年度より、表彰を受けられた皆様方の実践されている創意工夫について、少しでも多くの修繕工事に携わる方々の参考となるよう、事例集として提供しております。

公共建築物の修繕工事に携わる方々におかれましては、本冊子を参考に、創意工夫や一層の充実を図っていただくことを期待しております。

本冊子作成にあたりまして、表彰を受けられた皆様方に多大なご協力を賜りましたことに、厚くお礼申し上げます。

令和2年11月

公益財団法人横浜市建築保全公社
理 事 長 二 宮 智 美

目 次

まえがき

【建築部門】		頁
坂本建設株式会社	港北福祉授産所トイレ改修その他工事(建築・電気・機械)	1
奈良建設株式会社	横浜市民ギャラリー外壁改修その他工事	2
株式会社谷津建設	金沢動物園管理事務所浴室改修その他工事(建築・電気)(その2)	3
アラン建設株式会社	南部汚泥資源化センター屋上改修工事	4
横浜塗装工業株式会社	横浜あゆみ荘厨房改修その他工事(建築)	5
株式会社筒見工務店	下末吉小学校ほか1校トイレ改修その他工事(建築・電気)	6
芙蓉建設株式会社	港南台第一中学校ほか1校トイレ改修その他工事(建築・電気)	7
株式会社サクラ	神奈川小学校外壁改修その他工事	8
株式会社栗原工務店	港北小学校サッシ改修工事	9
【電気設備部門】		
株式会社九州電業社	市場ポンプ場管廊照明設備改修工事	10
株式会社アイキン電機工業	神大寺小学校教室等照明設備改修工事(その2)	11
株式会社シンデン	保土ヶ谷ポンプ場沈砂池照明設備改修工事	12
株式会社興友社	栄第二水再生センター管理棟照明改修その他工事	13
熊沢電気株式会社	恩田小学校屋内運動場照明改修工事	14
株式会社協栄電設	豊田地区センター高圧引込ケーブル改修工事	15
株式会社江電社	藤が丘地区センター照明設備改修工事	16
ナトリ電設株式会社	幸ヶ谷小学校通級指導教室改修工事	17
【機械設備部門】		
株式会社司工事	生麦小学校ほか1校トイレ改修その他工事(機械)	18
株式会社シンサナミ	北綱島特別支援学校吸収冷温水機等更新工事	19
紘永工業株式会社	初音が丘小学校トイレ改修その他工事(機械)	20
有限会社イワック	南部水再生センター本館空調設備等改修工事	21
株式会社ケイセツ	港北消防署篠原消防出張所浄化槽廃止その他工事	22

※掲載は、工事部門別に五十音順（施工者名）としております。

坂本建設 株式会社

港北福祉授産所トイレ改修その他工事（建築・電気・機械）

本工事は3か所あるトイレの改修、玄関ドア、各室入口ドアなどの建具改修、傷んでいる外部舗装の改修と空調設備を入れ替える工事でした。

初めて施設に伺った時に所長から「この施設は障害を持つ方が利用する施設なので、工事中もなるべく普段と変わらない状況を作ってほしい。」と依頼を受け、施設を運営しながら工事を進めていくには厳しい条件だと思いました。

特に建物の玄関から工事場所までの動線が施設利用者の方と同じという環境下で、普段となるべく変わらない状況を作り、施設利用者の方の安全を計画するというのは困難でした。

まず最初の難題はトイレの改修工事で設置する廊下の仮設間仕切でした。

通常は廊下幅のうち1m程を工事範囲として区画しますが、利用者の方の通行に支障があるので極力狭めてほしいと希望されました。

そこで廊下の壁から15cmだけお借りする計画を提案しました。

仮設間仕切を作業スペースの確保ではなく、工事場所へ出入口兼常時施錠ができる区画壁と考えました。

音に敏感な方もいらっしゃったので、仮設間仕切の中にグラスウールを充填して防音対策としました。

作業員の廊下の通行は利用者の方の休憩時間中は行わず、利用者の方の作業中に通行するようにルールを決め、合わせて作業場所入口に誘導員を配置して、資材などを運搬する際は同行して周囲の安全を確認するよう指示しました。

又、今回は施設利用者の方とのコミュニケーションも大切だと考え、作業員全員が進んで利用者の方に挨拶をするようにしました。

その甲斐あって無事に竣工を迎えることができた上に、施設利用者の方々から寄せ書きまでいただいて大変うれしい思いをしました。

日々問題があった中、施設関係者の方々、公社担当監督員の方には手厚く対応していただきまして、とても感謝しております。

今後もこの経験を活かし施設を利用されるみなさんに喜んでもらえる建物造りに取り組んでまいります。

工 事 場 所	横浜市港北区箕輪町二丁目4番41号		
請 負 人 氏 名	坂本建設株式会社	代表取締役	坂本 盛夫
契 約 年 月 日	令和元年10月30日		
完 成 期 限	令和2年2月24日		
完 成 年 月 日	令和2年2月18日		
検 査 年 月 日	令和2年2月21日		
契 約 金 額	33,055,000 円		

奈良建設 株式会社

横浜市民ギャラリー外壁改修その他工事

横浜市民ギャラリーは、JR 桜木町駅から伊勢山皇大神宮に向かいその先に 1987 年に建設された横浜市民職員厚生施設(いせやま会館)でしたが、2014 年に美術館にリノベーションした建物です。

今回の工事は、外壁改修工事と屋上防水改修工事が主たる内容でした。

工事を施工する上で心がけたことは、労働災害、第三者災害はもとより、静謐(せいひつ)な美術館の機能を損なわないよう、工事中の騒音などを可能な限り減らし、施設利用者にご迷惑をお掛けしないよう細心の注意を払うことでした。

施工計画を策定するときから、施設ご担当者との綿密な打ち合わせを行い、施設の利用や建物の特性などに関する情報を提供して頂き、これらを参考に日々の作業計画・作業内容を策定しました。

具体的には、工事資機材の搬入・搬出の作業が、毎週または各週火曜日に行われるギャラリー展示物の搬入・搬出の邪魔にならないよう前もって日程を確認し、かち合わないよう調整し、あるいは作業工程を見直し、円滑な作業に努めました。

月に一度の休館日には、開館日にはできない場所の作業や音の出る作業に集中するため、数日前から作業内容の打合せを行い、効率よく行いその日に完結することにより翌日以後の施設の利用に支障のないよう努めました。

さらに、月に数回開催された講習会や表彰式など各種イベント時には、施設内に音が響かないよう軽作業に限定するなど施設担当者との密なコミュニケーションにより情報を共有することに注意を払いました。

工事期間中は、梅雨の時期にも重なり雨の日が多かったので、外壁塗装や屋上防水作業で、その都度作業工程の変更や調整に腐心することが多く、天気予報と睨めっこすることが日常茶飯事でした。

それでも、発注者並びに施設ご担当者の多大なるご理解ご協力を始め、作業側の各担当者との情報共有と協調姿勢が、度重なる作業変更にも拘らず、無事故・無災害で工事を終了させることができた大きな要因だと思います。

多くの制約条件の下でも協調と工夫により円滑に作業ができ、施工品質が十分確保できたことは、ご発注者の工事目的にお応えできたのではないかと安堵するとともに、文化発信拠点の施設の維持管理に少しでも関わられたことは技術者として有り難いことだと感謝しております。

工 事 場 所	横浜市西区宮崎町 2 6 番地 1		
請 負 人 氏 名	奈良建設株式会社	代表取締役	植本 正太郎
契 約 年 月 日	令和元年 6 月 24 日		
完 成 期 限	令和元年 8 月 30 日		
完 成 年 月 日	令和元年 8 月 27 日		
検 査 年 月 日	令和元年 8 月 28 日		
契 約 金 額	70,664,400 円		

株式会社 谷津建設

金沢動物園管理事務所浴室改修その他工事（建築・電気）（その2）

今回、本工事を施工させて頂くにあたり、安全管理の徹底と仕上げの品質向上をメインに取り組むことを考えました。

安全管理の徹底については、特に資材搬出入時に於ける安全対応を徹底させました。

動物園の管理事務所という休日が無く、且つ常に関係者が通常業務を行っている環境での施工条件でしたので、管理事務所と常に綿密な打ち合わせを実施し、工事区画及び搬出入ルートを完全に独立させ、搬出入時間も含め事前周知を徹底すると共に、近隣住民に迷惑をかけない様、関係車両の駐車位置や駐車時間及び、交通誘導員の配置体制を明確に事前周知させたうえでの作業を常として、第三者災害が絶対発生しない環境づくりを徹底する事により、目の届かなかった事を理由とする事故防止に努めました。

関係者の理解と協力が必要であり、徹底への準備は手間取りましたが、これを実施したことにより、結果、事前段取りの徹底に繋がり、工程、品質管理の向上にも役立つことになりました。

仕上の品質向上については、工事着手前に既存となる取り合い部分の形状及び納まり、設置位置を出来るだけ細かく測定していく事で、最終仕上げの出来形をより正確に導き出すことを実施し、それに伴う設計図面に表記されていない問題を事前に洗い出し、担当監督員と協議し問題を解決し、許可を得た後、施工していく事が出来ました。また、品質を保ちつつ、綺麗に仕上げる為の工事手順を専門業者の施工計画を参考にしたうえで、それにとらわれず、過去の経験も踏まえ、現在最良と思える手順での施工を専門業者の理解と協力を得て事前決定し、実施出来た事により、納得いく仕上とする事が出来ました。

各関係者の協力あってこそその結果ではありますが、改めて改修工事時の事前準備と施工計画の重要性を認識する事が出来ました。

今後もこの経験を活かして、より良い工事をしていきたいと考えております。

工 事 場 所	横浜市金沢区釜利谷東五丁目15番1号		
請 負 人 氏 名	株式会社谷津建設	代表取締役	谷津 精二
契 約 年 月 日	令和元年6月19日		
完 成 期 限	令和元年12月25日		
完 成 年 月 日	令和元年12月24日		
検 査 年 月 日	令和元年12月25日		
契 約 金 額	17,853,000 円		

アラン建設 株式会社

南部汚泥資源化センター屋上改修工事

本工事は、南部汚泥資源化センター内の2棟の機械的固定工法によるシート防水工事及び4棟の接着工法によるシート防水工事が主な工事内容でした。

施設側との事前打ち合わせにより、施設側の大型作業車両等と工事関係車両が錯綜する箇所が想定されたため、工程策定にあたり工事場所の施工順序を検討し、施設側の作業の支障とならないように工程計画を行いました。

施工にあたっては、天候不順な状態であったため常に気象情報を把握し、既存シート防水の撤去後速やかに仮防水を行い、漏水事故の発生防止に努めるとともに、シート防水施工に先立ち屋上勾配の調査を行い、勾配の取れていない箇所については担当監督員と協議の上、下地調整用モルタルにて勾配調整を行いました。

また、接着工法によるシート防水箇所については、品質確保の観点から防水下地の含水率を自主検査し、十分に乾燥していることを確認した上で施工を行いました。

工程管理においては、天候不順により工程の遅延が発生しましたが、施工箇所が6棟と別れており複数個所の同時施工が可能であったため、協力会社と工程打合せを行い、作業員の増員等により工程遅延を解消し、工期内に工事を完了することが出来ました。

本工事が無事に完了できたのは、施設管理者様のご理解とご協力並びに担当監督員様のご指導のお蔭だと感謝しております。

今後とも関係者皆様に満足していただけるような施工に努めてまいります。

工 事 場 所	横浜市金沢区幸浦一丁目9番地		
請 負 人 氏 名	アラン建設株式会社	代表取締役	奈良 尚登
契 約 年 月 日	令和元年10月9日		
完 成 期 限	令和2年1月17日		
完 成 年 月 日	令和2年1月7日		
検 査 年 月 日	令和2年1月10日		
契 約 金 額	19,675,700円		

横浜塗装工業 株式会社

横浜あゆみ荘厨房改修その他工事（建築）

本工事は障がい者研修保養センター『横浜あゆみ荘』の厨房と付随する前室、倉庫、休憩室の改修工事でした。

『横浜あゆみ荘』は都筑ふれあいの丘の同敷地内にある都筑地区センター、都筑プールを含む3施設の一つであり、レストランの他は通常営業しており朝から夕方まで各施設を利用するたくさんの人が行き交います。

特に主工事が厨房改修の為、工程の前半に全設備機器、床・天井配管の解体及び撤去による産廃の量は膨大で保管スペースが限られており都度、速やかに搬出する必要がありました。利用者の出入り口と搬出入経路は重なっており搬入、搬出時や産廃搬出時は敷地内を車両が横断する為、特に歩行者に対する安全確保に努めるようにしました。

床の解体工事では当初、電動ハンマーで作業し始めたが既存軽量コンクリートはすぐ崩れてしまい進行の遅れが予想されるため、翌日からコンプレッサーによるコンクリートブレーカーを併用しました。しかしコンプレッサー使用は騒音と振動が大きくなります。宿泊者の中には音や振動に敏感な方もいらっしゃるのので施設の所長、スタッフの方と打合せを連日行い日時調整を行いながら進めました。

通常、天井→壁→床と工程を進めますが天井設備配管の設計変更があり工程の見直しが発生しました。担当監督員、機械設備代理人、電気設備代理人と打合せを行い、床を先行して天井を最後に仕上げる工程に変更する事に対応しました。工程の大幅な変更となり現場は混乱しましたが、担当監督員の指導の下、建築、機械、電気の各工種で協力し合い契約期間内に工事をまとめる事ができました。

本工事は施設関係者、担当監督員、工事関係者の協力がなければ無事竣工できませんでした。皆様に深く感謝いたします。今後もより良い施工に取り組み努力していきたいと思っております。

工 事 場 所	横浜市都筑区葛が谷2番3号		
請 負 人 氏 名	横浜塗装工業株式会社	代表取締役	立澤 明
契 約 年 月 日	令和元年8月8日		
完 成 期 限	令和2年1月31日		
完 成 年 月 日	令和2年1月31日		
検 査 年 月 日	令和2年1月31日		
契 約 金 額	31,123,400 円		

株式会社 筒見工務店

下末吉小学校ほか1校トイレ改修その他工事（建築・電気）

本工事は、下末吉小学校のトイレ3系統7箇所と上末吉小学校の1系統2箇所の児童用トイレをドライ仕様や洋式化仕様へ改修する工事でした。別途発注の他工事もあるなど輻輳（ふくそう）する作業環境下での工事となりました。

工事にあたり第三者災害の防止と学校運営の妨げにならないことを重点に置いて作業を進めました。

まず最初に、施設側の要望や学校行事をよく確認し工程計画、仮設計画を行いました。具体的には、夏休みと同時に工事がスタートすることから、教室に近い系統のトイレから着手し、騒音の出る作業などの大半を夏休み中に完了させるように工程を計画しました。

また平日作業においては、児童の登下校、また授業の休み時間や掃除の時間などに作業員と児童の接触を避けるため、資材の搬出入や揚重をする時間帯を制限し、それを現場のルールとして徹底しました。

学校関係者への影響を第一に考え、また要望を汲み取りながら工事を進めたことが品質的にも満足いくものになったと思います。

今後もお客様に喜んでいただける工事をしていけるよう心がけていきたいと思ひます。

工事場所	横浜市鶴見区上末吉五丁目24番1号		
請負人氏名	株式会社筒見工務店	代表取締役	筒見 克彦
契約年月日	令和元年7月17日		
完成期限	令和元年11月29日		
完成年月日	令和元年11月25日		
検査年月日	令和元年11月25日		
契約金額	51,337,000円		

芙蓉建設 株式会社

港南台第一中学校ほか1校トイレ改修その他工事（建築・電気）

本工事は、小学校児童用及び職員用トイレ改修並びに中学校生徒用のトイレを改修する工事でした。

工事に際しては、品質確保と工期厳守はもとより、学校という環境の中での工事のため、開校時における児童・生徒の安全確保と授業への影響が最小限になるよう、各学校関係者様と入念な打ち合わせを重ね、工事計画を作成し実施致しました。

仮設計画としては、工事エリアと児童・生徒、先生等学校関係者との動線を考慮し、使用時間帯や区画の整理をし、安全に努めました。作業計画は、学校行事や授業内容をお聞きしながら作業内容や作業時間を調整し工程を組みました。

また、安全管理として、工程の進捗に合わせた重点管理項目を決め、例えば、室内の床養生のめくれや、仮囲いに不具合がないか等の点検と、不具合発覚の際は直ちに是正を実施し、危険のないよう進めてまいりました。

施工管理の中で最も重要と考えたのは、将来のためのエビデンスとして隠蔽部分の確認と記録です。土間コンクリート打設前には、各室ごと全て事前の出来形を撮影し、その記録を保存致しました。その他の隠蔽部分についても同様に可能な限り記録を保存致しました。また、仕上げ面では、児童・生徒がトイレの使用に際して危険のないように、ビス頭の飛び出し処理や金属部分の小口の面取り等、細心の注意を払いました。

工程管理につきましては、厳しい工期の中、学校関係者様との打ち合わせに基づき、電気・設備業者と定期的に進捗状況の確認と実施工程の調整を図り、遅れが生じた場合、作業員の増員や施工手順の変更等の調整を致しました。また、その際は、担当監督員様へもご報告をし、状況を把握していただくとともに手順についての確認をさせていただきました。

今回、工期を遅延することなく、無事竣工することができましたのは、担当監督員様の丁寧なご指導と敏速なご指示や学校関係者様のご理解、ご協力の賜物と感謝しております。

今後とも、今回の経験を活かし、安全で良質の工事に努めてまいりたいと思います。

工 事 場 所	横浜市港南区港南台二丁目14番1号		
請 負 人 氏 名	芙蓉建設株式会社	代表取締役	氏家 俊一
契 約 年 月 日	令和元年7月22日		
完 成 期 限	令和元年10月11日		
完 成 年 月 日	令和元年10月10日		
検 査 年 月 日	令和元年10月11日		
契 約 金 額	48,796,000円		

株式会社 サカクラ

神奈川小学校外壁改修その他工事

本工事は神奈川小学校の校舎及びポンプ室等の付帯施設の外壁改修、サッシカバー工法・SD交換を行う工事でした。

生徒児童や教師、保護者等の第三者の方が常に敷地内に居る状況での工事の為、音の出る作業の時間帯や敷地内の区画整理には特に注意をいたしました。

第三者へ危険がない事を最優先とする為、作業方向や区画、夏季休業期間中の足場解体完了までの範囲を協議し決定を行いました。

また、学校運営への支障が少ないよう運動会や学校開放等の利用状況と時期を教えていただき、音・埃等の発生する時期や範囲を明確に説明するよう心掛けました。

外壁は石綿含有建材となっていた為、通常の外壁改修工事より作業期間が多くかかることが予測された為、前もって現場の状況調査を可能な限り行いました。

建物は躯体の劣化が著しく、特にベランダ側の手摺の固定は落下の危険性が感じられるほど損傷していました。

施工前の調査の段階で、施工図や強度確認の資料等の準備を随時進め、担当監督員との協議が円滑に進むように気を付けました。担当監督員の方の助言や早急な対応のおかげで工事が中断することなく進行することが出来ました。

現場施工中には大型台風が直撃する予報が出たため、前もって風散養生を行い、当日は施設管理者からの許可をいただき施設内での現場点検を行ったので、敷地内外の倒木や飛来物の撤去、電源復旧等の現場復旧作業が最短で行えました。

工事は利用者へ負担がかかってしまう場面が必ずあるので、施設の運営状況や利用状況をよく考えることと相手が求めている内容に添えているかの確認が必要と思います。

工事中心になりすぎ相手に過度な負担がかからぬよう日頃からコミュニケーションをよく取る事とその取り方が大切だと思います。

現場で作業をしていただいている協力業者の皆様と共に、工事完了後は少しでも多くの方が喜んでもらえるような施工をしていけるようこれからも心がけようと思います。

工事場所	横浜市神奈川区東神奈川二丁目35番地1
請負人氏名	株式会社サカクラ 代表取締役 板倉 徹
契約年月日	令和元年7月24日
完成期限	令和元年11月29日
完成年月日	令和元年11月22日
検査年月日	令和元年11月22日
契約金額	110,770,000円

株式会社 栗原工務店

港北小学校サッシ改修工事

本工事は、横浜市港北区にある港北小学校の校舎A棟・B棟・C棟のサッシをカバー工法にて改修する工事でした。また、サッシ改修工事のため外部足場を架ける必要があったため外壁調査が工事内容に組み込まれており、調査したところ既存塗膜のふくれや脆弱部・爆裂欠損・モルタルの浮き等が多数確認できたため、結果を提出し担当監督員と調査結果を現地確認したところ外壁改修工事が必要と判断され外壁下地補修及び仕上塗材塗りの施工を行うこととなりました。

外部足場の架け作業が通常の授業を行っている中での作業となりましたが、学校側と打ち合わせを行い、極力児童への影響が少ない棟の面から架け始めることを了承して頂きスムーズに工事を進めることが出来ました。作業エリアや資材搬入車両・資材置き場を明確にし、誘導員を増員して作業員の動線と児童の動線を明確に分け作業エリアへの進入を防ぐことで第三者災害の防止となりました。

サッシ改修工事を夏休み中に施工予定しており、着工会議を行った後、学校側の協力を得て直ちに既存サッシの採寸・作図を行えたので、発注までが早く予定の工程通りに施工が出来ました。

外壁改修では、特に塗膜のふくれがひどく状態は水風船のような箇所もありました。担当監督員と現地で一緒に補修方法の検討を行い、再度ふくれが起こらないよう小さな補修箇所も見落とさないよう心掛けました。

工事期間中、何度か悪天候にも襲われましたが無事故・無災害で工事完了・お引き渡しが出来たのも、工事関係者・監督員、学校側の協力が何よりも大きかったと心より感謝しております。

工事場所	横浜市港北区菊名二丁目15番1号		
請負人氏名	株式会社栗原工務店	代表取締役	栗原 聡
契約年月日	令和元年7月11日		
完成期限	令和元年10月31日		
完成年月日	令和元年10月23日		
検査年月日	令和元年10月29日		
契約金額	96,690,000円		

株式会社 九州電業社

市場ポンプ場管廊照明設備改修工事

本工事は、管廊内の腐食した設備ラックの撤去及び照明設備の改修工事を行いました。

まず、現地調査では管廊内の腐食や老朽化が激しく、また、配管等の破損状況が酷く、狭い厳しい環境下での作業となるため、配管更新と作業効率性を良く考えた工事内容を担当監督員様に提案をさせて頂きました。

この工事の工夫点は、品質管理と安全管理において落下防止のため緩み止め剤を使用することや、照明器具には管理番号を表示するなど施設管理者様の視点になって施工を心がけました。

次に、酸素濃度計で現場内の三箇所にて一日三回測定し、測定記録を外部の安全掲示板に掲示し、作業員の顔色チェックシートで体調管理を徹底しました。

作業環境においても、現場環境を常に明るくすれば明るい気分で行えると考え、仮設照明の設置場所や位置を工夫しました。

停電作業時の工程表は事前に連絡を密にし、二箇所ある立坑出入口に表示を行いました。

今回の工事で、作業の工夫や提案で作業効率性や作業環境が改善されることを経験しました。

ご協力頂きました施設管理者様、担当監督員様の迅速な対応を心から感謝致します。

今後とも安全・信頼・完全をモットーに努力と技術革新を進めて参ります。

工 事 場 所	横浜市鶴見区市場下町7番11号		
請 負 人 氏 名	株式会社九州電業社	代表取締役社長	大中原 義文
契 約 年 月 日	令和元年12月11日		
完 成 期 限	令和2年3月19日		
完 成 年 月 日	令和2年3月6日		
検 査 年 月 日	令和2年3月13日		
契 約 金 額	8,695,000円		

株式会社 アイキン電機工業

神大寺小学校教室等照明設備改修工事（その2）

本工事は夏休み期間中における照明設備改修工事です。

工事件名に（その2）とあるように工事期間が2週間ほど短い且つ大きな小学校のため照明器具が1000台近くありとてもタイトで厳しい工程となりました。

その中で施工品質を落とさず、事故災害のない安全な現場の確保ができるよう社内で検討を重ねていきました。

【工程管理】

現場調査から着工会議までを最短日程で行い、学校側の要望を取り入れ工程を作成。

学校副校長先生をはじめ一般の先生方にもその日の工事場所、作業用通路がわかるようホワイトボード型工程表を職員室前に設置。毎日作業終了後、副校長先生に進捗状況の報告、工程の変更点、次日の作業場所、各種要望の確認をして、日々コミュニケーションを取り確実に工事が完了できるよう管理しました。

【品質の確保】

施工は撤去・取付2名、職長1名の3名1班を計3班体制で行いました。

メンバー固定による施工の統一、また教室ごとに工程内検査を実施し品質確保に努めました。

資材工具の用意、教室や廊下の養生を行う段取班、作業終了後の片付け清掃を行う片付班を別に配置することで施工班は照明器具取付に集中できるよう工夫しました。

【安全面での配慮】

季節柄熱中症シーズンとなるので休憩室を作り、エアコンの使用許可を頂きました。

作業員は支給の空調服を着用、休憩も時間にとられない様に環境を作り、作業員の体調チェック、声掛け運動の実施、冷蔵庫設置による食中毒防止、冷たい飲み水、塩アメを用意して熱中症防止に努めました。

車両については運用台数の削減（最小台数）、駐車場の立ち入り禁止措置（バリケード設置）敷地内入退場時は必ず誘導員を配置し、児童・職員、第三者最優先を作業員に周知徹底させました。

【創意工夫】

小学校での工事でしたので安全看板のひらがな表記、工事看板の夏を演出する装飾などを行いました。特に女性の先生方には好評でした。

意見箱を設置し、気になる点やその他要望の収集に努めました。

非常に厳しい工程の現場でしたが、学校副校長先生をはじめ先生方の全面的な協力、公社担当者様、関係者皆様のご協力のもと無事故無災害で完成出来ましたこと感謝しております。

今後もより一層の品質向上、安全作業、環境負荷低減を目指し尽力していきます。

工 事 場 所	横浜市神奈川区神大寺三丁目34番1号		
請 負 人 氏 名	株式会社アイキン電機工業	代表取締役	相澤 金太郎
契 約 年 月 日	令和元年6月26日		
完 成 期 限	令和元年9月20日		
完 成 年 月 日	令和元年9月13日		
検 査 年 月 日	令和元年9月20日		
契 約 金 額	38,221,200円		

株式会社 シンデン

保土ヶ谷ポンプ場沈砂池照明設備改修工事

本工事は、ポンプ場施設内沈砂池の照明器具更新工事を実施いたしました。

工事着手にあたり、現地調査を行った際、施工条件である仮設足場組みでの足場計画では既存設備機器や配管があり、仮設足場組みが困難の箇所があるとともに壁側部分が1段高い部分(約5m程)の通路となっているため、作業時の墜落・転落防止を考慮し、低い既設配管の下を走行かつブームの伸びる特殊仕様の高所作業車を採用しました。

安全対策については、高所作業時に工具の落下を防止するワイヤを取付けフルハーネス型墜落制止用器具を使用しました。また、二人作業により手渡しのルールを決めて落下防止に努めました。

品質管理については、沈砂池廻りの金属類は腐食が早いため、少しでも腐食を遅らせる方法として厚鋼電線管に溶融亜鉛メッキ塗装を施し、配管工事を実施しました。

アンカーの再利用及び新設については、バネばかりによる自主引張試験を実施するとともに、専門業者による抜き打ち試験を実施しました。

照明器具更新に伴い既存照明の見え方と大幅に変わりメーター等が見えづらくなる恐れの部分については、施設担当者様と細目に打合せを実施し、角度調整等に立会い頂き設置を行いました。

本工事において、無事故無災害で工程通りに完成できましたのは、担当監督員様、施設担当者様、施設関係者の皆様と綿密かつ円滑に連絡・調整が行えた結果だと思えます。

最後に、皆様のご協力に心より感謝申し上げますとともに、今後もこの経験をいかし、より一層の技術向上と品質の良い工事を提供できるよう努めて参ります。

工 事 場 所	横浜市保土ヶ谷区天王町2丁目43番地		
請 負 人 氏 名	株式会社シンデン	代表取締役	嶋津 誠
契 約 年 月 日	令和元年9月25日		
完 成 期 限	令和2年1月31日		
完 成 年 月 日	令和2年1月17日		
検 査 年 月 日	令和2年1月24日		
契 約 金 額	11,323,400円		

株式会社 興友社

栄第二水再生センター管理棟照明改修その他工事

本工事は管理棟及びその他施設内一部の照明器具や誘導灯をLED照明器具に更新する工事でした。

【工程にあたり特に留意した事】

管理棟の事務室や会議室は横浜市の別途発注工事と施工箇所が重なり天井ボードの張替等があり、照明器具の取付ができる時期等を別途発注の代理人様や施設関係者様と入念に打合せをしました。又、工事を早く完了させて事務室等を使用できるように努めました。

その他の部屋に関しても施設の方々が使用している為、施設関係者様と打合せをして仕事の妨げにならないよう日程を調整して作業をさせて頂きました。

また、照明器具更新時のブレーカーの開閉は施設担当者様の立ち合いの下で行う為担当者様の立ち合い可能な日程及び時刻等を綿密に調整致しました。

【施工にあたり特に留意した事】

照明器具を更新するにあたり、既設の照明器具を撤去し新しい照明器具を取付ける際に既設照明器具の汚れ跡がでてしまう場合は、天井ボードの汚れを清掃して同色塗料にて塗装を致しました。

また、既設天井面の仕上がりは水平ではなかった為、天井と照明器具との隙間をコーキング材にて充填致しました。

実験室での工事では通常よりも床や机をしっかりと養生し、ガラス製品等の割れ物が多々設置されていたので慎重に施工致しました。

工事全般を通しまして工事が円滑に完了することが出来たのは担当監督員様、施設関係者様の方々、別途発注の工事関係者様との綿密な調整とご協力があった事が要因だと思います。皆様に感謝致します。

今後もより良い施工を目指し、日々努力していきたいと思っております。

工 事 場 所	横浜市栄区长沼町82番地		
請 負 人 氏 名	株式会社興友社	代表取締役	谷知 紀雄
契 約 年 月 日	令和元年10月2日		
完 成 期 限	令和2年2月24日		
完 成 年 月 日	令和2年2月12日		
検 査 年 月 日	令和2年2月18日		
契 約 金 額	6,967,400円		

熊沢電気 株式会社

恩田小学校屋内運動場照明改修工事

本工事は、夏休み期間に小学校の屋内運動場と付帯設備の照明器具をLED型に交換、および分電盤など既設設備の改修工事を行いました。

同期間中、空調設備、その他工事など複数の工事と同時に重なり工事着手前より作業員の動線、工事車両の配置など学校関係者、先生方と打ち合わせを数回行い、安全確保に重点を置きました。

工程管理、品質管理については、夏休み3週間弱という短い工期の中で竣工させるため、高所に照明器具を設置するので、特注品の架台寸法確認を早目に現地調査し、施設に配慮しつつ無理のない製作工程により品質の向上に務めてまいりました。

安全管理については、夏休み期間中でもキッズクラブなど学校開放は、朝早くから児童、保護者、施設職員が登校し、工事車両、資材搬入と同じ出入口で通路の幅が狭く、区分けが出来ないので児童、第三者の安全確保のため誘導員を配置し、特に動線の安全対策に細心の注意を払いました。

作業環境は高所作業で高温のうえ湿度が高く、熱中症対策として水分補給とこまめな休養をとるなど作業員の体調管理にも注意を心がけて工事を進めました。

今回の工事において、保全公社担当監督員様、学校管理関係者様、社員、協力業者各位のご協力により工事を無事故で終える事が出来ました。

今後も安全第一とともに、品質、技術向上に努めて参りたいと思います。

皆様に心より感謝しております。ありがとうございました。

工 事 場 所	横浜市青葉区桂台二丁目36番地		
請 負 人 氏 名	熊沢電気株式会社	代表取締役	熊澤 義澄
契 約 年 月 日	令和元年7月29日		
完 成 期 限	令和元年9月20日		
完 成 年 月 日	令和元年9月10日		
検 査 年 月 日	令和元年9月17日		
契 約 金 額	11,124,000 円		

株式会社 協栄電設

豊田地区センター高圧引込ケーブル改修工事

本工事は老朽化した高圧引込ケーブル及び高圧機器の改修工事でした。

施設は毎日利用している方が居て、その中で月 1 回の休館日を利用して停電をして、ケーブル及び機器の更新を行いました。

全ての当社工事に共通する事項として、工事だけで現場は終わらない。

施設管理者様のご要望を汲んでよりよい現場対応と施工を目指す。を目標としています。

事前調査を念入りに行い、停電工事前に出来る仕事、停電工事後にやる仕事とを区分けし、事前に行える工事も利用者さんとの接点が極力無い方向で調整をし、また施設に負担にならない工程を組んで作業にあたりました。

停電当日は安全面にも十分配慮し、高圧機器改修場所の確保、第三者が侵入しないように注意喚起し、極力停電時間が短くなるように調整をしました。

また、普段から月一度の休館日は施設の清掃を行っているため、清掃業者様にも障害が出ないように仮設電源を用意し、施設の冷蔵庫や当日出勤して工事に立ち会って頂く施設の方の作業の支障にならないよう仮設電源には特に気を配りました。

停電工事で支障の出そうな機器は事前にシャットダウンさせたり、施設側のご要望に極力答えられる様に館長と相談して工事を進めさせて頂きました。

技術面でも革新的な何かは有りませんが、普遍的である物をブラッシュアップすべく、創意工夫をこらして作業を進め、担当監督員様と協議を密に重ね、お互いに意見を出し合いしっかり打合せを行い現場に反映させました。

施設に負担をかけないといった面でも、今回工事は塗装工事も絡んだ工事でしたが、塗料も水性であったからといって現場で洗い流すのではなく、きっちり使い切る量を把握して当日の作業を終えて、刷毛や用具の清掃は持ち帰ってから水洗いし、翌日の作業に備えるなど、現場を極力汚さない配慮もしました。

また掘削した箇所の木々の復旧や周囲の雑草撤去など、ほんの少しの手間で見えないところに気を遣うと気がつく方は気がついてくれます。だからといって褒められるわけでも有りませんが、当社としては先に申し上げた通り、工事を安全に完了するのはもとより、気持ちよく施設の方が現場作業を受け入れて頂き、無事に工事を終えることが出来る様に今後も施工に当たりたいと考えます。

工 事 場 所	横浜市栄区飯島町 1 3 6 8 番地 1		
請 負 人 氏 名	株式会社協栄電設	代表取締役	加藤 進
契 約 年 月 日	令和元年 7 月 31 日		
完 成 期 限	令和元年 11 月 22 日		
完 成 年 月 日	令和元年 11 月 12 日		
検 査 年 月 日	令和元年 11 月 19 日		
契 約 金 額	2,684,000 円		

株式会社 江電社

藤が丘地区センター照明設備改修工事

本工事は、地区センターでLED照明器具の交換工事を行いました。

1. 施工計画

月に1度しか休館日が無いため、当日朝に資材を搬入、夕方には廃材を搬出するように計画を立てました。

限られた時間の中で施工するために、事前調査を十分に行い、施工計画を作成しました。

2. 工程管理

器具の組合せ表を作成して、器具を素早く配るようにしました。また、出来るだけ同じ種類の器具を交換するようにして効率が上がるように施工しました。

事前に、渡り配線用のFケーブルを加工して、現場での工数を少なくするようにしました。

3. 品質管理

廊下部分では、照度のばらつきが出ないように、器具を選定し、明暗が少なくなるように工夫をしました。

ホール部分では、既設照明が製作品であり、意匠的に合うような器具を選定しました。

階段部分では、照度をより明るくし、利用者が安全に通行できるよう考慮しました。

4. 安全管理

休館日を利用したの工事でしたので、内部には人がいなかったのですが、外部は通り抜けをする人がいるため、フェンスで区画を行い、第三者災害の防止に努めました。

最後に施設関係者様、担当監督員様、施工関係者様のご協力に心から感謝いたします。

お客様に、ご満足いただけるようにするためには、思いやりとコミュニケーションが一番大切だと思いました。

今後も、皆様に喜んでいただけますように、より一層努めて参りたいと思います。

工事場所	横浜市青葉区藤が丘一丁目14番地95		
請負人氏名	株式会社江電社	代表取締役	松田 茂
契約年月日	令和元年10月2日		
完成期限	令和2年2月21日		
完成年月日	令和2年2月12日		
検査年月日	令和2年2月19日		
契約金額	18,136,800円		

ナトリ電設 株式会社

幸ヶ谷小学校通級指導教室改修工事（電気）

本工事は通級教室の ITV の改修工事を行いました。施工にあたり特に留意した点は、全教室の床全面改修の建築工事との工程調整、通級教室以外の学校行事等との調整、そしてその中でも通級教室の各教室を使用する児童にあわせた環境に応じた ITV の調整でした。

施工については、限られた日程でしたので、全教室の床全面改修の建築工事の工程表の中に電気工事の工程も入れて頂きました。それにより作業員・先生方にも別工事でありながら容易に日々の工程の確認がわかるようにしました。また相互の作業順序、搬出搬入の動線確認を行うことで追加作業ができましたが工程に影響が出ないように出来ました。

今回は通級教室の工事ではありますが、通級以外の学校の活動は行なわれています。通級に関係のない児童や先生方にも今回の工事を周知していただくように皆さんにアナウンスしました。同時に学校全体の行事や休み中も他の校舎や校庭の使用状況にも配慮しました。そのお陰で一般の先生の協力もあり作業動線にも多くの協力をして頂くことが出来ました。

そして ITV の調整に関しては、何度も先生方と調整を繰り返しました。各教室のマイクの音の特徴やカメラの角度などの確認・調整に関しては、学校が夏休みではありましたが通級の先生方が全員揃う日程を数日間あわせて頂きました。

そして、授業が始まってからも確認調整の日程を設け、児童の口元の動き音質にあわせた調整、ITV 機器をスムーズに使用できるように機器のシール表示などを先生方と一緒にを行うことで取り扱い方を覚えて頂きました。

今回の工事におきましては工事関係の皆様、そして多くの先生方のご協力により工事が無事完了できましたことに心より感謝申し上げます。今後も使用する方の気持ちや目線にたち、より良い施工を心がけて精進し一層の努力を致します。

工 事 場 所	横浜市神奈川区幸ヶ谷 1 番地 1		
請 負 人 氏 名	ナトリ電設株式会社	代表取締役	名 取 勲
契 約 年 月 日	令和元年 7 月 3 日		
完 成 期 限	令和元年 11 月 29 日		
完 成 年 月 日	令和元年 11 月 22 日		
検 査 年 月 日	令和元年 11 月 29 日		
契 約 金 額	12,089,000 円		

株式会社 司工事

生麦小学校ほか1校トイレ改修その他工事（機械）

本工事は、小学校及び中学校のトイレとその他を改修する工事で、作業場が小・中学校と離れており、それぞれの運営や日課なども異なるので、各学校側との工程調整と建築工事との総合的な工程調整を行わなければ、工事を円滑かつ安全に進めることが困難だと考えました。品質に関しても各校とも最下階はトイレではなく別用途の部屋で壁間仕切り及び天井高が異なるので、給水管のルート確保や排水勾配など入念に事前調査し、納まりの検討を行いました。

まず取組んだことは、小学校と中学校の運営と日課の違いを把握することでした。大きな違いがあったのはやはり部活動の有無でした。夏休み期間中でも校庭・屋内運動場はもちろんのこと、教室や廊下・敷地内道路での活動もある為、廃材コンテナや資材置き場、または工事車両の区画を学校側と協議し、搬入出の際は接触災害が起きないように隔離・専用導線の確保を図りました。

そして、解体やハンマードリルでの騒音作業についても、小学校と中学校では日課が違う為、時間割を把握して大きな音の作業を平日行う際は、休み時間を利用するなど作業を分散して行いました。器具搬入の際も生徒等との交差を避けるために、生徒移動のない時間を利用して行いました。

学校行事では、運営のほかに学校開放であったり防災訓練やお祭り等、地域の方達が利用することも多く見受けられ、着工打合せの段階では見えてこない行事も出てきます。その為当初の打合せだけでなく常に学校との情報を共有することが大切です。作業に影響が出ないよう、時には学校開放利用者にヒヤリングをするなど先の予定を把握し安全対策は十分で車両の台数を確保できているかなど、検討を重ねることが重要だと考えております。

改修工事とは、常日頃から安全への意識を持ち、施設関係者や工事協力関係者などと情報共有を積み重ね進めていくことが最優先と考えます。また施工のプロとしての意識を自負して行うことが、より良い工事を完成させるに至ると思います。

今後ともこの経験を活かし、また社内で共有し、より一層皆様に喜んで頂けるよう努力してまいります。

工 事 場 所	横浜市鶴見区鶴見中央三丁目14番1号		
請 負 人 氏 名	株式会社司工事	代表取締役	清田 真弘
契 約 年 月 日	令和元年7月17日		
完 成 期 限	令和元年10月31日		
完 成 年 月 日	令和元年10月25日		
検 査 年 月 日	令和元年10月29日		
契 約 金 額	38,478,000円		

株式会社 シンサナミ

北綱島特別支援学校吸収冷温水機等更新工事

本工事の工事内容は特別支援学校の屋上に設置されているガス吸収冷温水機（冷却塔一体型）・膨張タンクの機器更新及び付随する設備・配管等の更新工事でした。

工事にあたっては「工程管理」「安全管理」「品質管理」及び「搬出入計画」に重点を置きました。

1. 工程管理について

- ・ 二基のガス吸収冷温水機を一基ずつの交互更新し、施設の熱源機器を極力停めないことが原則とされていたため施設との調整を綿密に行った上で詳細な工程を立てた。また、配管、電気等の切り替え作業、機器の試運転等は休校の日に行うことによって空調停止の時間を最低限にすることが出来ました。
- ・ 工期短縮のため配管のプレハブ化を実施し施工にあたりました。屋上での作業が主だったので、雨天による工期遅れ防止のためシート張りによる雨養生を行い作業をしました。

2. 安全管理について

- ・ 作業導線は施設と相談し児童との接触が少ないルートを確認し、搬入等は児童の下校後及び休校日に合わせて行いました。また作業開始前の挨拶時にその日の予定を再確認し、第三者災害の防止に努めました。
- ・ 機器の搬出入は敷地の都合上、隣接する小学校の敷地より行いました。別施設のため双方の管理者と調整し計画を立てたことで円滑で安全な搬出入が行えました。

3. 品質管理について

- ・ 今回の工事では屋上廻りの熱源機器及び配管等の更新工事であったため、既設の室内機（FCU）が異常なく運転をするのが最も重要な点であると考えました。よって機器メーカー・自動制御の協力業者等と入念な試運転調整を行い、引き渡し後に不具合が生じないように努めました。

4. 搬出入計画について

- ・ 工事前の現場調査で敷地内へ入場する前面道路と門の間口が狭く 50t ラフテレーンクレーンが入らないことが判明しました。敷地内に入れる重機の能力と揚重する機器の重量を考慮し、メーカー協力のもとで機器を分割搬入にしました。また一基ずつの交互更新である点、工事場所の狭さを考慮し、3回に分けて搬出入での揚重作業を行いました。

本工事が遅れなく無事故無災害にて完遂できましたのは、担当監督員、施設担当者ならびに関係者の皆様と円滑にコミュニケーションをとりながら施工にあられた故の結果だと思えます。

皆様に感謝するとともに、これからもより一層の努力をして参りたいと思えます。

工 事 場 所	横浜市港北区綱島西五丁目 1 4 番 5 4 号		
請 負 人 氏 名	株式会社シンサナミ	代表取締役	岩下 幸男
契 約 年 月 日	令和元年 12 月 25 日		
完 成 期 限	令和 2 年 3 月 27 日		
完 成 年 月 日	令和 2 年 3 月 16 日		
検 査 年 月 日	令和 2 年 3 月 23 日		
契 約 金 額	30,899,000 円		

紘永工業 株式会社

初音が丘小学校トイレ改修その他工事（機械）

本工事は、校舎南棟1階から4階児童用トイレ及び南棟2階職員用トイレのドライ化と南棟屋上の高架水槽の流末給水配管の更新工事でした。

工事においては夏休み期間を挟むとはいえ、小学校での居ながら工事となるため第三者災害の防止の徹底と、給水停止期間を極力少なくし、学校運営等に支障をきたさぬよう十分に配慮をした施工計画および実施工程の作成に重点をおきました。

1. 施工管理での重点項目

- ・ 事前に現地調査を充分に行い、各配管系統の確認・既存配管の状況・止水弁の有無の確認を充分に行い、施工中におけるイレギュラーの防止に努めました。

2. 工程管理での重点項目

- ・ 着工会議前に別途建築工事との工程擦り合わせを行い、マスターネット工程表を作成して工程管理を行いました。又、各階毎のタクト工程表を作成し施工業者に各々の工事期間を把握してもらいながら施工にあたりました。

「既存撤去→墨出し→X線探査→コンクリート穿孔→天井配管→水圧試験→保温」の日程を遵守。

3. 安全管理での重点項目

- ・ 夏休みを挟んだ工事とは言え、施工区域が教室に近接していたために児童の動線には格段の注意をして作業を行いました。特にX線探査の工程においては夏季休暇期間中に施工しましたが、キッククラブの運営日と重なった場合は運営責任者様と事前協議を行い、入退場の動線を変更してもらうなどの措置を行いました。

4. 品質管理での重点項目

- ・ 既設配管との工事境界の箇所においては、水圧試験の区間を明確にするためにも設計図に記載されていない管理バルブ（試験用）を設け水圧試験を実施し、既存配管への水圧によるダメージも考慮し施工を行いました。

今回工事におきましては、設計図に反映されていない配管等への対応もありましたが、本工事を当初の工期通り無事完工できましたのは、発注関係者、担当監督員、学校関係者、施設運営者の皆様と上手くコミュニケーションがとれ、施工できた所以（ゆえん）と思います。

最後に皆様に感謝するとともに、これからも品質の高い工事を成果として納められるよう精進して参る所存です。

工 事 場 所	横浜市保土ヶ谷区藤塚町1番1号		
請 負 人 氏 名	紘永工業株式会社	代表取締役	青木 成文
契 約 年 月 日	令和元年7月31日		
完 成 期 限	令和元年10月4日		
完 成 年 月 日	令和元年9月25日		
検 査 年 月 日	令和元年10月2日		
契 約 金 額	24,772,000円		

有限会社 イワック

南部水再生センター本館空調設備等改修工事

本工事は、南部水再生センターの本館棟1階操作室、2階事務室、センター長室、外部滅菌制御室の空調機更新を行う工事です。

落札決定後、まず我が社で行うことは現場調査に行く前に図面を熟読し、また公社主催の研修で頂いた資料を参考に、今回の工事で問題点となりそうな事をピックアップします。

操作室・センター長室においては、作業日時・既設空調機の作動停止日・動線の確保・養生方法・既設の室内機の大きさ・電気の容量・天井の解体復旧があるかなどの確認。

事務室においては、施設の職員が通常勤務していますので、休日作業が可能なのか・立合者は必要なのか・セキュリティーの問題はあるのか・仮設のヒーターが必要になるかなどの確認。

外部滅菌制御室においては、施設内には自由に出入りできるのか・電源の使用は可能か・屋外機の搬入にはクレーンが必要なのか・屋上への昇降に足場が必要になるのではないかなどの確認。

一部ではありますが、こう言った事前準備・予測をすることによって、現場に行ったときに問題点が分かりやすく、対応がいち早くできると考えております。

実際に、設計で設置する空調機は三相200Vでしたが、現場では単相200Vの電源しか供給されていませんでしたので、事前に機器の変更を行いました。
ちょっとした確認事項を怠って、ミスをした経験は沢山あります。そのミスをいかに減らせるかで、結果的に作業効率アップ・工期短縮・施設側への負担軽減につながってくると思っています。

この受賞を励みに、これからも品質向上に向けてより一層の努力をしていきたいと思っております。

工事場所	横浜市磯子区新磯子町39番地		
請負人氏名	有限会社イワック	代表取締役	菅谷 淳
契約年月日	令和元年11月13日		
完成期限	令和2年2月24日		
完成年月日	令和2年2月12日		
検査年月日	令和2年2月19日		
契約金額	9,624,450円		

株式会社 ケイセツ

港北消防署篠原消防出張所浄化槽廃止その他工事

本工事は、港北消防署篠原消防出張所浄化槽廃止という工事でした。

本工事は、消防署という緊急車両の出入りがある施設だったので施設側との綿密な調整をして施工を行う必要がある工事だと考えました。

安全管理

- ・車両の出入りが多い現場でしたので車両との接触がおこらないよう周囲の確認と作業エリアをカラーコーン等で囲い作業を行いました。
- ・重機を使用する作業の時は使用前に点検し旋回や移動を行う時は作業員同士声を掛け合い必ず2人以上で作業を行いました。

工程管理

- ・緊急車両が常に出入りできるように作業エリアを分割し鉄板等を敷いて出入りができるよう調整しました。
- ・毎日の作業開始・終了時に施設側と綿密な調整をし可能であれば事前に緊急車両を移動してもらい施設側に迷惑がかからないよう調整しました。

品質管理

- ・建物側の接続する配管と既存の接続桝のレベルを測り配管距離と合わせて事前に勾配を計算し配管時は常に勾配計等で勾配確認をしながら作業を行いました。
- ・アスファルト舗装の場所は集水桝を増やしたり元々土だった場所は碎石を敷きならす等をして施設側の利便性向上を図りました。

本工事を工程通り無事完了できましたのは施設側や様々な方達のご協力があったのことに実感しました。

今後も品質向上、施設の方や皆様に満足してもらえるよう努力してまいります。

工 事 場 所	横浜市港北区篠原町1312番地2		
請 負 人 氏 名	株式会社ケイセツ	代表取締役	小松 美保
契 約 年 月 日	令和2年1月8日		
完 成 期 限	令和2年3月27日		
完 成 年 月 日	令和2年3月17日		
検 査 年 月 日	令和2年3月24日		
契 約 金 額	8,462,520 円		

令和2年度版 工事管理のひけつ

編集・発行 公益財団法人横浜市建築保全公社

横浜市中区本町3丁目30番地7 横浜平和ビル8F

TEL 045-641-5106 FAX 045-664-7055

<http://www.y-hozen.or.jp>

発行日 令和2年11月27日

本文はそれぞれの原稿を元に一部修正等を行っておりますが、その責任は当公社にあります。無断で本書の全部もしくは一部を転載・複写することをご遠慮ください。